

意見書案第 15 号

京都府老人医療費助成制度の継続を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

平成 25 年 12 月 19 日提出

提 出 者

向日市議会議員 山 田 千枝子

賛 成 者

向日市議会議員 飛鳥井 佳 子

## 京都府老人医療費助成制度の継続を求める意見書

京都府には、65歳以上70歳未満の低所得者の医療費窓口負担を3割から1割に軽減する独自助成制度があり、高齢者に喜ばれている。しかし、今、国会で審議されている「社会保障制度改革プログラム法案」に、70～74歳の医療費窓口負担が来年4月から現行の1割から2割に引き上げることが盛り込まれていることに伴い、京都府は現行の老人医療費助成制度を1割から2割に引き上げる見直しを検討していると聞く。

しかし、負担増により、受診を控えた高齢者は、早期発見・早期治療の機会が失われ、重症化が進み、医療費が膨張する懸念すらある。高齢者の窓口負担が軽減されることによって、心身の健康状態が改善される世界的な研究成果もある。

よって、京都府におかれては、憲法第25条の理念に基づき、老人医療費助成制度の継続をされるよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年12月19日

京都府向日市議会